

ほげんだよりの月

和歌山県立田辺工業高等学校 保健室 2020年11月第2号 (Vol.18)

11月も半ばを過ぎ、いよいよ冬の気配が濃くなってきました。

全国的に新型コロナウイルス感染症の再拡大が起こり、第三波が来たといわれています。

厚生労働省の助言機関や医師会、都道府県の緊急会議などでも「3密を避ける」「マスクの徹底」を広く呼びかけています。県内でも増加傾向にあります。ひとりひとりの意識の持ち方で感染爆発を防ぐことができます。引き続き感染予防策の徹底をお願いします。

普通救命講習

11月10日(火)電気電子科、情報システム科1年生が講習を受けました。田辺市消防本部の隊員5名と田辺市女性消防団員2名の方が来てくださり「新しい生活様式」に即した救命講習を学びました。



今冬の対策について

今冬は、インフルエンザやノロウイルス感染症など、従来の冬の感染症に加え、新型コロナウイルス感染症対策が必要です。

11月に入り、日本各地域で感染拡大が起こっています。ウイルスは全般に「低温・乾燥」の条件で感染率が高くなるといわれています。その上、暖かい室内を保とうと、窓を開け放しておくことが少なくなり、エアロゾルが室内に滞留することで感染が広がりやすいことも考えられます。

学校では教室等は換気のために窓を開けます。これはぜった

いにすべきことなので、ぜったいに窓を開けて換気を行います。

寒いからといって閉めっぱなしにはしないでください。

人と人の距離が近くなったり、同じ膝掛けを同時に使ったりしないでください。

防寒対策として、機能性下着やスパッツ、タイツ、くつしたなど防寒や保温などを謳った物も多く出回っていますので、自分に合ったものを着用しましょう。

使い捨てカイロなどを使用する際は、使用上の注意事項や捨て方のルールを守りましょう。

防寒対策は校則に従い、各自工夫して行ってください。

手洗いもていねいに行いましょう。感染症の最も大きな感染ルートは自分の手を介したものといわれています。学校の水道からは水しか出ませんが、心して、ていねいな手洗いをお願いします。

もちろん、マスクの正しい着用もお願いします。マスクは必ず自分で用意してください。予備の物も持参しましょう。捨てるときはできるだけ自宅で捨ててください。そのためには密閉できる袋も必要です。袋も持参してください。学校で捨てる際は、広げたままゴミ箱に捨てず、袋などに密閉してから捨ててください。

マスクに触れた後は手を洗いましょう。

また、保健室のベッドの使用について、冬用の掛け布団や毛布などはすぐに消毒・洗濯することができないので、今まで以上に使用を制限します。保健室のベッドで休養しなくてもよいように、各自で体調管理をお願いします。